

奄美地域におけるエダマメの11~12月出し栽培技術

エダマメの11~12月出し栽培は、9月下旬~10月中旬に播種し、品種は「サヤムスメ」等3品種が有望で、無被覆栽培が可能

背景・目的

- ・奄美地域では、大規模な畑地かんがい施設を整備中で、水利用による高収益な園芸品目の導入が期待
- ・エダマメは水利用により発芽安定と増収が期待でき、11~12月は市場単価が高い
- ・奄美地域におけるエダマメの11~12月出し栽培技術を確立する

成果の内容

- ・播種時期は、9月下旬~10月中旬が良い(図1)
- ・品種は、「サヤムスメ」、「恋姫」、「あづま錦」が有望(表1)
- ・無被覆栽培も被覆栽培と同等の収量(図2)

播種期	8月			9月			10月			11月			12月			商品収量(kg/a)					評価
	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	H29	H30	R元	R2	平均	
8月下旬	●															4	-	-	-	4	×
9月上旬		●														27	-	-	-	27	×
9月中旬			●													26	38	42	-	35	×
9月下旬				●												-	-	53	52	53	○
10月上旬					●											-	58	44	-	51	○
10月中旬						●										-	47	33	63	48	○

注) ●: 播種 ■: 収穫時期

図1 播種期毎の収穫時期と商品収量

早播きは、台風被害で収量が低い

9月下旬~10月中旬播種で、11~12月に収穫でき、収量も安定

表1 エダマメ品種の収量、収穫適期幅及び棚持ちからみた総合評価

品種	商品収量	英色からみた 収穫適期幅	英色からみた 棚持ち	総合評価
サヤムスメ	○	◎	◎	◎
恋姫	○	◎	◎	◎
あづま錦	○	◎	◎	◎
夏風香	◎~○	○	○	○
湯あがり娘	◎	△	○~△	△

注) 評価基準 ◎: 優れる ○: 中 △: 劣る

離島からの出荷のため、棚持ちを重要視

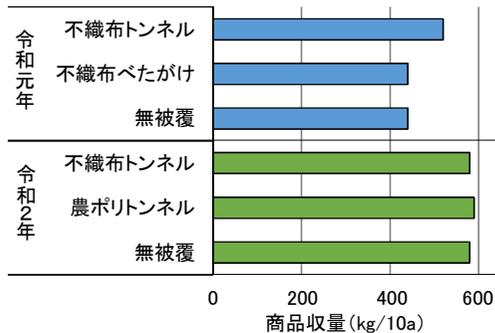


図2 被覆毎の商品収量

期待される効果

- 国内の生産量が少なく、高単価期の出荷で、高収益が期待できる
- 奄美地域の新たな輸送園芸品目として有望

奄美の農業生産が拡大、向上



12月に収穫したエダマメ

- 普及対象・範囲 奄美地域で畑かん水が利用可能な生産者

鹿児島県農業開発総合センター
徳之島支場園芸土壌研究室